

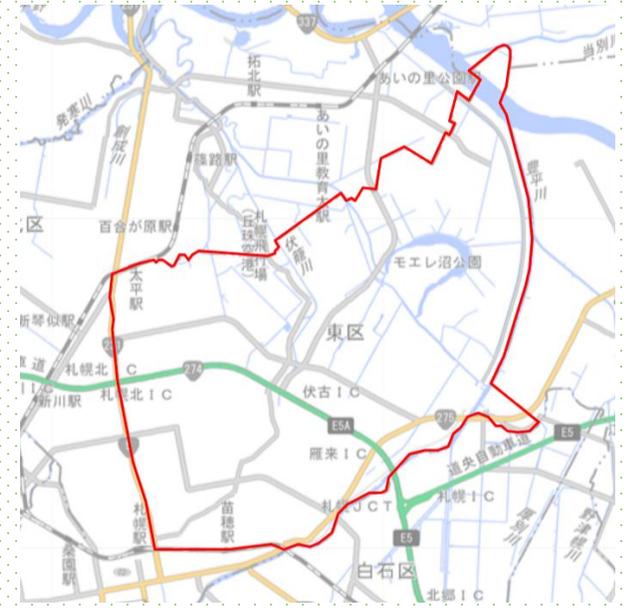
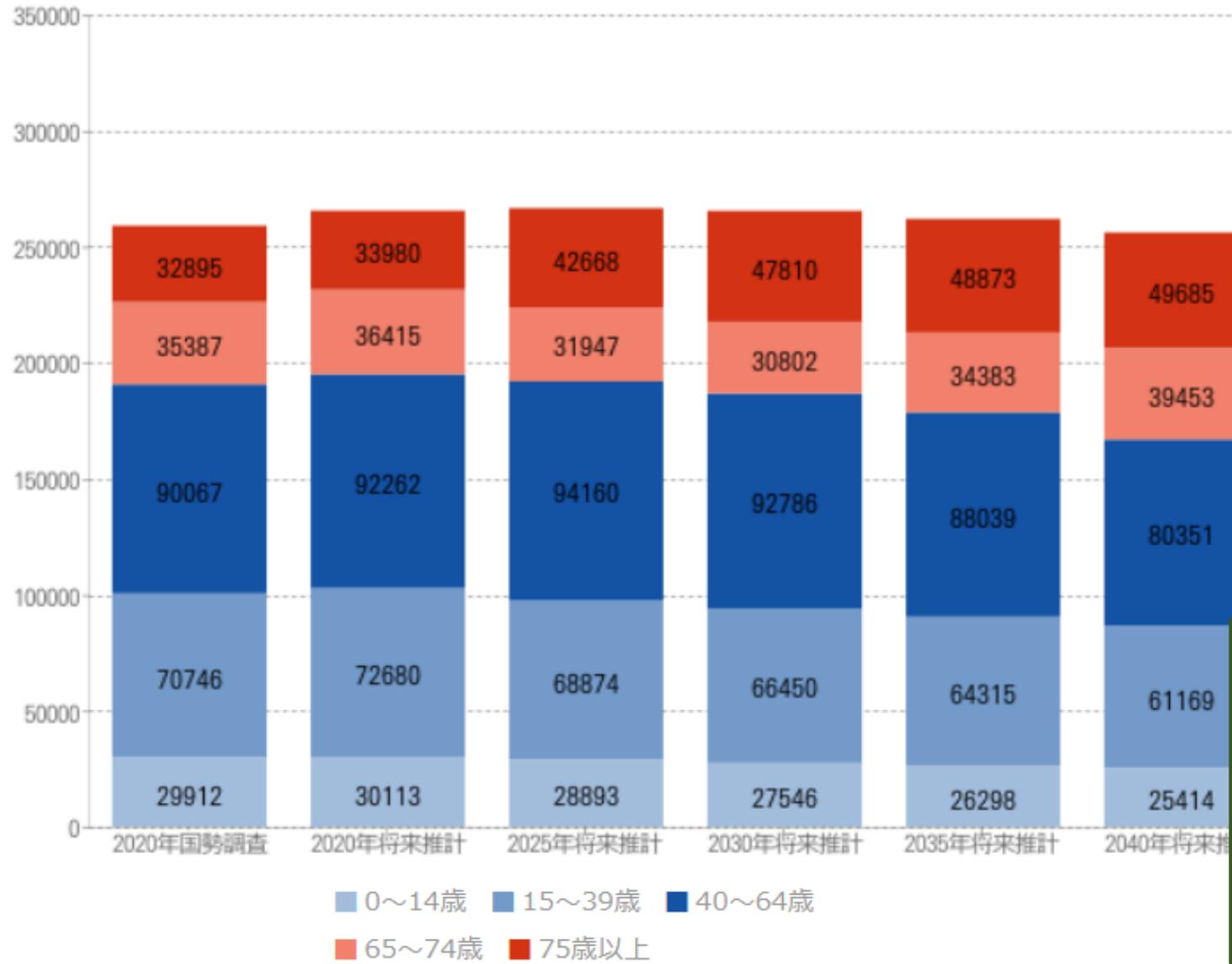
在宅療養支援病院の担う役割

～東苗穂病院・札幌あんしん在宅医療ネットワークの現状～

札幌あんしん在宅医療ネットワーク 所長
東苗穂病院 副院長 星野拓磨

当方（札幌東区）の地域背景

❖ 将来推計人口（人）

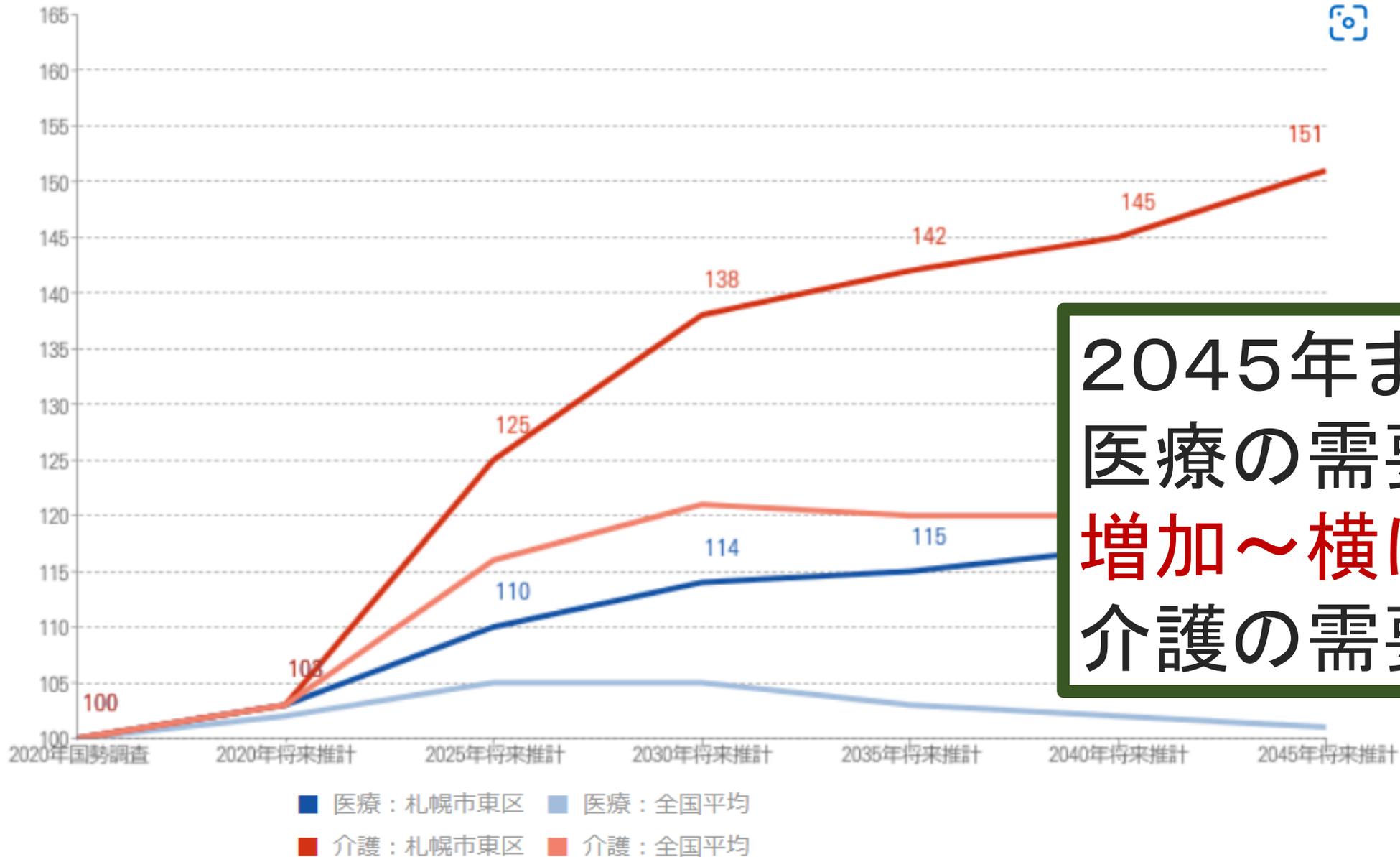


2045年まで
65歳以上の方は
増加～横ばい



人口 25万人超
高齢者人口7万人弱

医療介護需要予測指数（2020年実績＝100）



2045年まで
医療の需要は
増加～横ばい
介護の需要は増加

東苗穂病院と地域の医療体制

東苗穂病院



札幌市東区 唯一の在宅療養支援病院

病床 161床

(一般 60床 療養 60床 回復 41床)

医師:常勤14名

(訪問診療部 常勤3名)

循環器救急

救急総合C病院

救急総合B病院

救急総合A病院

消化器救急

当院



東区医療介護ネットワーク協議会について

札幌市医師会東区支部と協力し、東区内の医療機関が中心となり、円滑な東区の地域包括ケアシステムの構築に寄与するための協議会。

- (1) 東区内の病院の空床情報
- (2) 地域連携パスの作成、運用
- (3) 病院と介護関係者との交流の場の提供
- (4) 情報共有のあり方の検討

さっぽろ北部認知症連携の会

さっぽろ北部摂食嚥下ねっと

さっぽろ北部ICTネットワーク

さっぽろ北部心不全ネットワーク

さっぽろ北部糖尿病ねっと

さっぽろ北部CKDねっと

さっぽろ北部骨粗鬆症
リエゾンサービス



札幌あんしん

在宅医療ネットワーク

について



札幌あんしん
在宅医療ネットワーク

豊生会グループで在宅医療にかかわる機能でつくる 総合ネットワーク

- あんしん在宅医療ネットワークセンター
- 病院(東苗穂病院)
- 在宅医療部 5か所 医師 (東苗穂病院 在宅医療部、たんぽぽクリニック、豊生会元町総合クリニック、東雁来すこやかクリニック、豊生会苗穂駅前クリニック、当別あんしんクリニック)
- 訪問看護ステーション 2か所(東苗穂訪問看護ステーション 訪問看護ステーションなごみ)
- 訪問リハビリテーション 1か所(東苗穂訪問看護ステーション)
- 訪問介護
- 訪問歯科 1か所(にじいろ歯科)
- 訪問栄養 栄養士2名(あんしん在宅医療ネットワークセンター所属)

訪問歯科

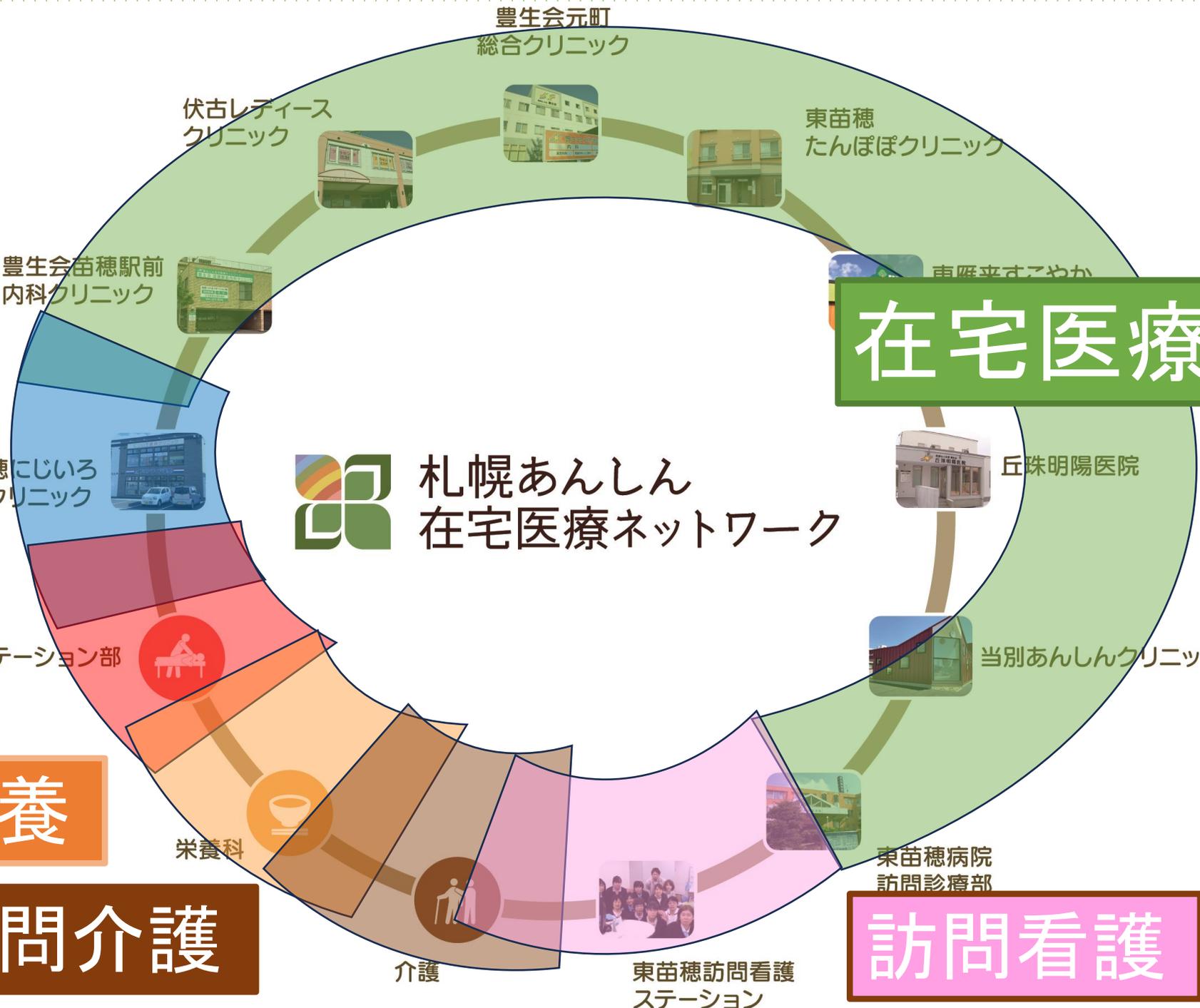
訪問リハビリテーション

訪問栄養

訪問介護

在宅医療

訪問看護



札幌あんしん
在宅医療ネットワーク

豊生会元町
総合クリニック



東苗穂
たんぼぼクリニック



豊生会苗穂駅前
内科クリニック



東雁来すこやか



訪問歯科

東苗穂にじいろ
歯科クリニック



丘珠明陽医院

訪問リハビリ
リテーション

リハビリテーション部



当別あんしんクリニック

訪問栄養

栄養科



東苗穂病院
訪問診療部



訪問介護

介護



東苗穂訪問看護
ステーション

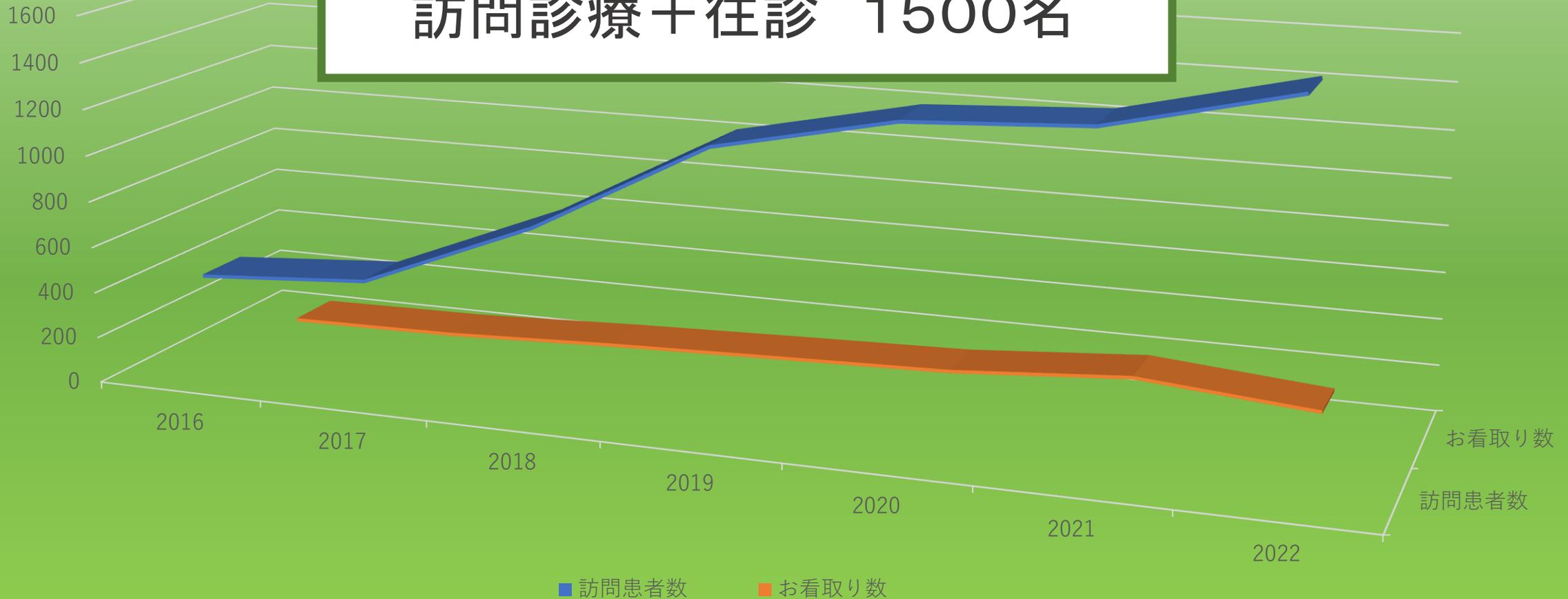


訪問看護



札幌あんしん 在宅医療ネットワークの実績

訪問診療＋往診 1500名







訪問栄養
札幌あんしん在宅医療
ネットワークセンター

訪問歯科 東苗穂
にじいろ歯科クリニック

訪問看護 東苗穂
訪問看護ステーション
ひだまり なごみ

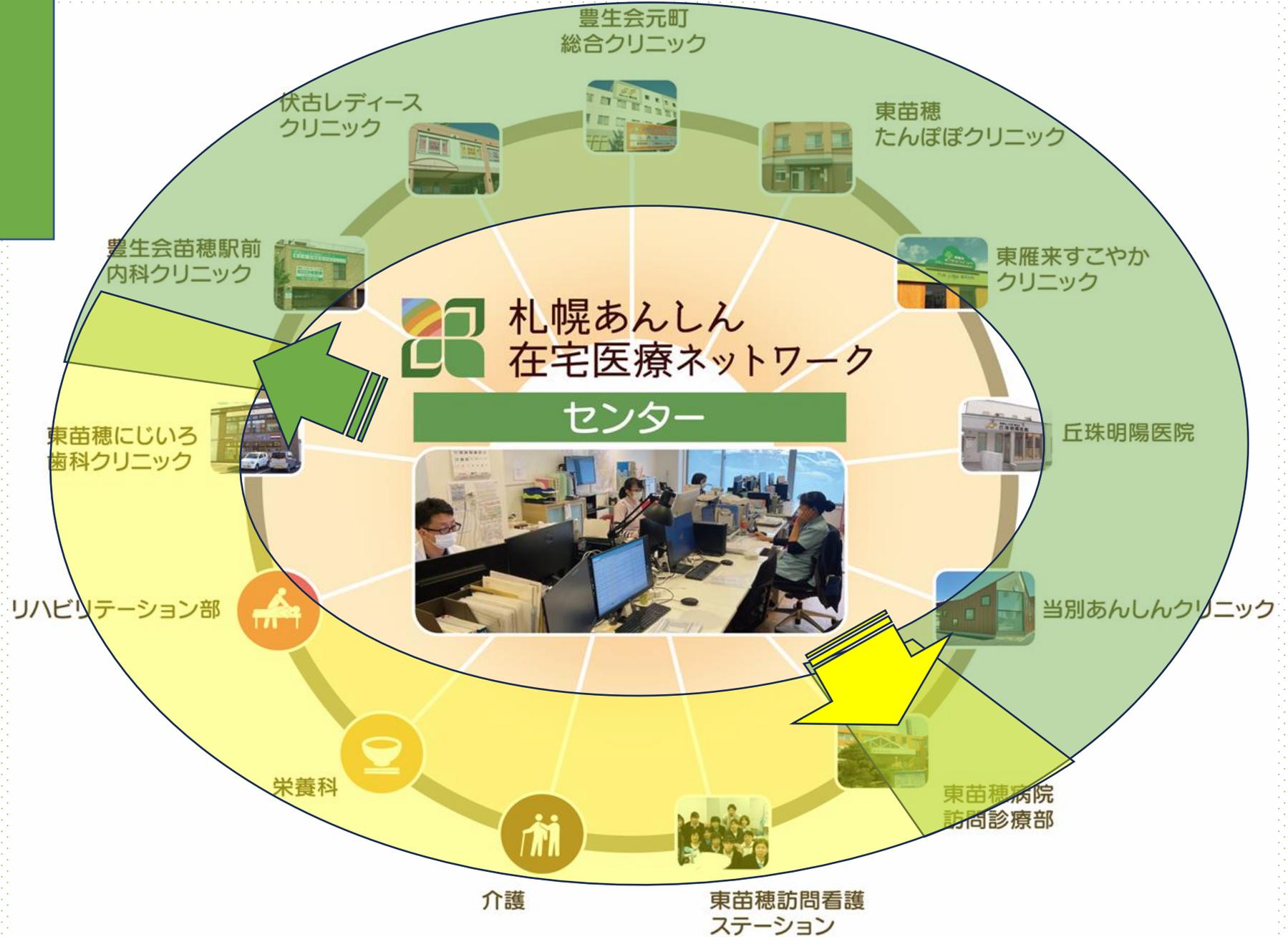
訪問介護
ヘルパーステーション虹
ヘルパーステーション リボン

訪問リハビリ 東苗穂
訪問看護ステーション

札幌市東区を中心に展開する
訪問診療の総合サービスネットワーク

札幌あんしん 在宅医療 ネットワーク センター

- ・訪問診療の
新規契約
- ・啓蒙活動や
講演会
- ・総合サービス
としての
ネットワーク構築





東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割



- 一般急性期入院
- 検査入院
- 訪問診療導入時の入院評価
- 他院入院後 転院対応
- レスパイト入院



東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割 受け入れ状況①

稼働率98% 1日平均 6人入院し6人退院

月120人の入院 うち42人(約36%)が在宅関連の入院患者

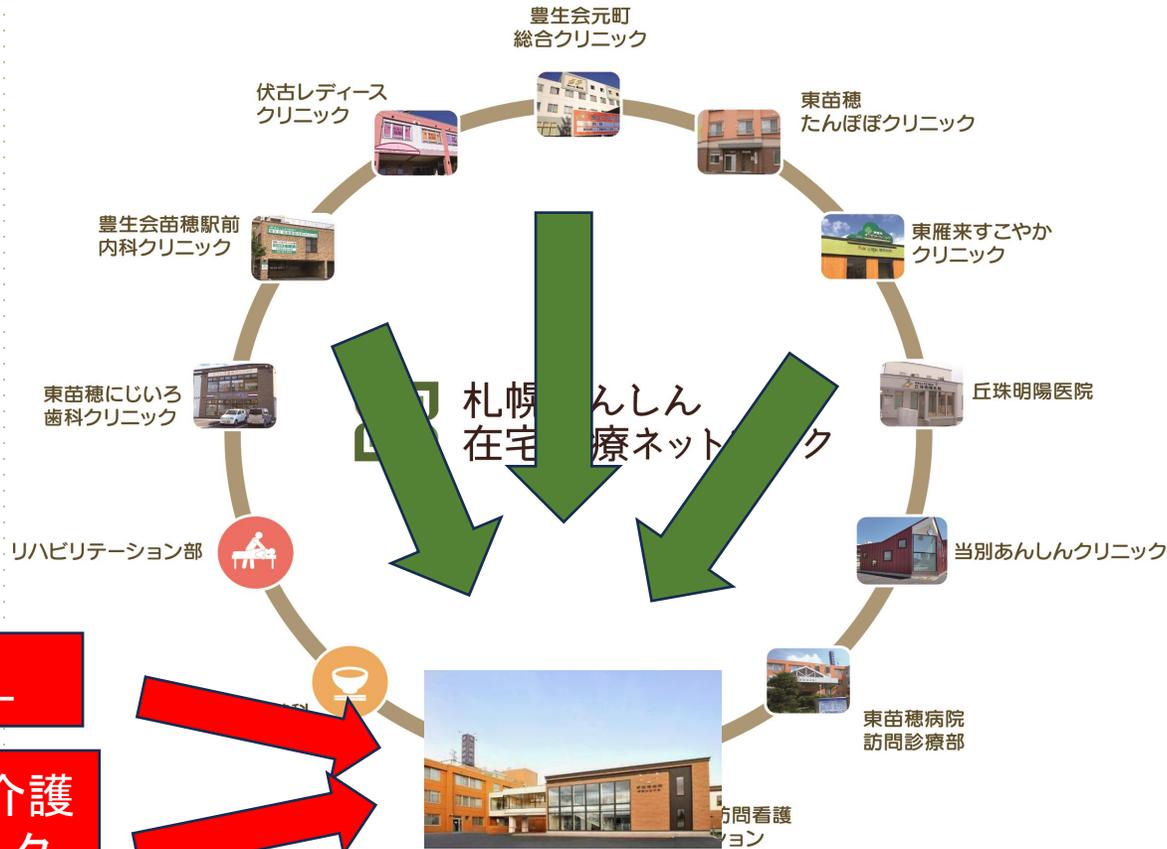
紹介先	人数
あんしんネットワーク入院 (うち緊急入院8人)	29人(約25%)
他院からの紹介・転院 (うち緊急入院4人)	13人(約11%)



東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割 受け入れ状況②

元の療養場所	人数(割合)
個人宅	6人(15%)
施設	22人(55%)
特養	12人(30%)

東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割 受け入れ状況③



札幌あんしん在宅医療ネットワークを
とおして29人(25%)

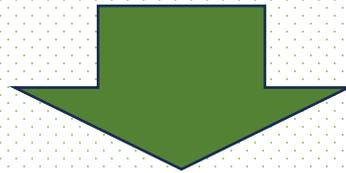
他院から直接、
他院を介して13人(11%)

- 他院CL
- 東区医療介護ネットワーク協議会
- 救急総合病院



東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割 入院中①

病状説明1回目＋諸検査行い全身状態把握しつつ治療
当日リハビリ・嚥下評価＋MSW介入・生活背景状況確認



病状説明2回目＋意向確認



意向を受けて、
退院時カンファレンス・転院先調整・サービス調整など



東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割 入院中②

回復病棟レベルのリハビリ→ADLを落とさない





東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割 入院中③

食べるをあきらめない



嚥下（飲み込み）評価

ご自宅や入居施設、入院中の病院へ訪問し、お口の状態や飲食の様子を確認後、必要に応じた提案をします。



栄養士と連携

飲み込みの状態だけではなく、食べる量や栄養バランス、体重の増減、食べやすい調理方法、栄養補助食品も栄養士と連携し相談に応じます。



歯科と連携

“入れ歯が外れやすい”、“食べると歯ぐきが痛む”、“歯が抜けて噛みにくい”等があると、食事への意欲や楽しみが減少してしまいます。わたしたちは歯科と連携し速やかに対応します。

嚥下評価



栄養評価



歯科介入



東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割 入院中④

チームでささえる

NST (栄養サポートチーム)



患者様に最適な栄養療法を提供することを目的とした、多職種により構成された医療チームのことで、低栄養状態では筋力、体力、免疫力などが低下し、リハビリ効果がうまく発揮されないことがあります。各分野の専門職が知識と技術を持ち寄り、食事摂取が十分でない患者様や栄養状態の改善が必要な患者様に対して、適切な栄養補給方法の提案や疾患の回復や合併症予防に有効な栄養管理方法の提案などを行っています。

NST(栄養サポートチーム)

DST(認知症サポートチーム)

褥瘡対策チーム

認知症サポートチーム(DST)

認知症による認知機能障害や行動心理症状により、身体疾患の治療への影響が懸念される患者様に対し、認知症の悪化を予防し、身体疾患の治療・リハビリが円滑に受けられるよう多職種がチームで介入しています。認知症ケアサポートチームは、医師、認知症看護認定看護師、作業療法士、社会福祉士、薬剤師、管理栄養士等の多職種で構成されます。





東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割 入院中⑤

患者さん・家族さんに向き合う

入院中に患者さん・家族さんと
ACP・人生会議をしっかりと行う。
関わる人にあんしんしてもらおう。

東苗穂病院の在宅療養支援病院としての役割 退院先



退院時カンファレンス
おおむね週一回

現在の課題

- 緊急入院対応の限界
- 迅速な情報連携の構築
- 特養など高齢者施設対応

在宅療養支援病院としての役割を地域で果たせるよう
迅速な受け入れをすすめ、
入院していただいたことが
患者さん・家族さんの在宅療養生活での
大きなあんしんにつながるよう
に努めていきます。